

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第14回研修を開催しました！」

第14回の研修は、令和4年9月3日(土)に、北上市の岩手県農業研究センター及び岩手生物工学研究センターの一般公開デーに参加し、「先進農業」について、学びました。

岩手県農業研究センターでは、会場内で研究成果の展示や技術相談・病害虫相談などが行われ、会場の外では、農業機械の展示、場内産農産物の販売などが行われていました。

研究成果の展示では、ドローンを用いた鳥類防除技術導入マニュアルの動画や、水稻やりんどうの品種開発に関する研究成果などが展示されており、受講生は、講義で学んだことを振り返っていたようでした。

農業機械の展示では、ラジコン刈払い機や薬剤散布用ドローン、最新モデルのトラクタなどが展示されていました。

受講生は、展示品の値段に驚きの声を上げていましたが、ラジコンやドローンは作業効率が

高く、作業負担が軽減されることなどに魅力を感じているようでした。

岩手生物工学研究センターでは、所長を務める当チャレンジファームの高畑施設長から施設の概要について説明していただきました。

また、研究成果の展示では、八重咲きりんどうに関する研究や、ゲノム育種に関する研究成果のほか、岩手県産米「金色の風」の開発秘話を知ることができました。

受講生からは、「岩手でも品種改良やゲノム育種など、専門性の高い研究が行われていることを知ることができた」、「最先端の研究に触れられる大変良い機会となり、非常に刺激を受けた」との、感想が聞かれました。

第15回の研修は、9月9日(金)、10日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで、たい肥についての講義、こまつなの栽培及びトマトの出荷調製についての実習を行う予定です。



ドローンを用いた防鳥について見学する様子



高畑施設長から施設の説明を受ける様子



最新モデルの農業機械を見学する様子



ゲノム育種について見学する様子